

医業経営情報 REPORT

4

2016

医業経営

平成 27 年決算データからみる

医科診療所 経営実績分析

平成 27 年

医科診療所経営実績分析

平成 27 年

収入上位診療所の経営実態

平成 27 年

診療科目別経営実績分析

平成 27 年

医療法人立診療所経営指標分析



Available Information Report for Medical Institution Management



1 | 平成 27 年 医科診療所経営実績分析

1 医科診療所経営実績分析の概要

本調査は、平成 27 年の決算書に基づいて、実数値から経営状況を把握することを目的としています。その上で、連続して調査を実施している平成 26 年との比較を通して、前年実績との改善または悪化の状況を分析しています。抽出したデータは、平成 27 年に決算を終えた無床診療所 253 件（医療法人 158 件、個人開業 95 件）の主要科目を抽出し、平均値を算出しています。なお本分析では、個人開業及び医療法人の実数値をそれぞれ集計した後に、個人開業に統合したため、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■平成 27 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	109,052	110,659	101.5%
1. 保険診療収入	95,179	96,571	101.5%
2. 保険外診療収入	12,437	12,367	99.4%
3. その他の医業収入	1,436	1,721	119.8%
II 変動費	18,389	18,402	100.1%
材料費	14,700	14,353	97.6%
検査委託費	3,689	4,049	109.8%
III 限界利益	90,663	92,257	101.8%
IV 変動費外医業費用	48,114	47,482	98.7%
1. 人件費	23,023	23,372	101.5%
2. その他医業費用	25,091	24,110	96.1%
減価償却費	7,636	7,073	92.6%
地代家賃	6,407	6,187	96.6%
研究研修費	280	246	87.9%
保険料	2,175	2,223	102.2%
接待交際費	1,111	1,128	101.5%
その他経費	7,482	7,253	96.9%
V 医業利益	42,549	44,775	105.2%

2 医科診療所 全体動向と利益の状況

(1) 医科診療所 全体動向

平成 27 年における医科診療所の経営実績は、平成 26 年と比較して増収増益となりました。

医業収入は 1.5% の増加、保険診療収入は 1.5% の増加でした。変動費は 0.1% の微増となりました。限界利益は 1.8% の増加となり、医業費用は 1.3% 減少したため、医業利益は 5.2% の増加となりました。

医業収入・費用等全体の状況

● 医業収入

対前年比 1.5% の増加、金額にして 1,607 千円の増収となりました。

保険診療収入、その他収入が増加した一方で、保険外診療収入が減少しています。

● 医業費用

変動費は対前年比 0.1% の増加となっています。材料費は減少しましたが、検査委託費は増加しています。

医業費用は、対前年比 1.3% の減少となっています。役員報酬と専従者給与を除いた人件費は、1.5% の増加となっています。その他医業費用は、対前年比 3.9% の減少となりました。

● 医業利益

平成 27 年の平均医業利益は、44,775 千円であり、対前年対比 5.2%、金額にして 2,226 千円の増加という結果になりました。

(2) 医科診療所 利益状況

限界利益、医業利益、経常利益の全てが増加となりました。

限界利益が対前年比 101.8%、医業利益が同 105.2%、経常利益が同 102.0% という結果となりました。

■ 限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
限界利益	90,663	92,257	101.8%
医業利益	42,549	44,775	105.2%
経常利益	43,807	44,676	102.0%

3 医業収入 対前年増減比較分析

(1) 医業収入分析

医業収入の実績は、下記のとおりです。医業収入合計では、対前年比 101.5%となっています。保険診療収入が 1.5%の増加となりましたが、保険外診療収入は減少、その他の医業収入は増加しました。

■ 医業収入

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
医業収入合計	109,052	110,659	101.5%
保険診療収入	95,179	96,571	101.5%
保険外診療収入	12,437	12,367	99.4%
その他医業収入	1,436	1,721	119.8%

■ 医業収入分析

内訳をみると、保険診療収入は 1,392 千円の増加、保険外診療が 70 千円の減少、その他の医業収入は 285 千円の増加となっています。

4 医業費用 対前年増減比較分析

(1) 医業費用対前年比較

医業費用の実績は、下記のとおりです。

変動費は 0.1%の増加となり、人件費は 1.5%の増加、その他医業費用は 3.9%のマイナスとなりました。

① 変動費（医薬品・医療材料費・検査委託費）

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
変動費合計	18,389	18,402	100.1%
変動费率 (%)	16.9	16.6	0.3%
材料費	14,700	14,353	97.6%
検査委託費	3,689	4,049	109.8%

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
人件費合計	23,023	23,372	101.5%
(参考) 役員報酬	41,115	41,107	100.0%
(参考) 専従者給与	4,492	4,561	101.5%

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
その他医業費用合計	25,091	24,110	96.1%
減価償却費	7,636	7,073	92.6%
地代家賃	6,407	6,187	96.6%
研究研修費	280	246	87.9%
保険料	2,175	2,223	102.2%
接待交際費	1,111	1,128	101.5%
その他経費	7,482	7,253	96.9%

(2) 医業費用分析

●変動費

平成 27 年全法人平均で 18,402 千円となり、前年と比較すると 0.1%増加しています。この数値は材料費及び検査委託費で集計しており、材料費が 2.4%減少、検査委託費は 9.8%の増加となっています。

●人件費

平成 27 年平均で 23,372 千円、対前年比 1.5%の増加となっています。前期は、2.2%の増加でしたが、平成 27 年は 1.5%の増加でした。職種によって採用困難な状況がみられ、離職防止また、採用を見越した賃金の改定が継続されていると推測できます。別途集計したデータでは、役員報酬は平成 27 年平均で 41,107 千円、専従者給与は 4,561 千円となっています。

●その他医業費用

平成 27 年平均は 24,110 千円となりました。

前年と比較すると、金額で 981 千円 (3.9%) の減少となりました。前期は、消費税率が 8%に引き上げられた影響で増加となりましたが、平成 27 年は、大きな変化はなく、全体的に微減でした。

2 | 平成 27 年 収入上位診療所の経営実態

1 収入上位診療所経営実態調査の概要

第 1 章で分析した無床診療所 253 件（医療法人 158 件、個人開業 95 件）の決算書より、収入上位 20%を抽出し、経営データを集計しました。分析の分母は 50 件で、その内訳は医療法人 36 件、個人開業 14 件となっています。

■平成 27 年 収入上位診療所比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	209,562	211,580	101.0%
1. 保険診療	185,168	186,756	100.9%
2. 保険外診療収入	22,216	22,284	100.3%
3. その他の医業収入	2,178	2,540	116.6%
II 変動費	43,249	42,679	98.7%
材料費	37,314	36,478	97.8%
検査委託費	5,935	6,201	104.5%
III 限界利益	166,313	168,901	101.6%
IV 変動費外医業費用	89,416	90,604	101.3%
1. 人件費	46,362	47,502	102.5%
（参考 役員報酬）	60,536	59,729	98.7%
2. その他医業費用	43,054	43,102	100.1%
減価償却費	7,762	7,749	99.8%
地代家賃	7,760	7,472	96.3%
研究研修費	396	346	87.4%
保険料	4,805	4,811	100.1%
接待交際費	1,820	1,890	103.8%
その他経費	20,511	20,834	101.6%
V 医業利益	76,897	78,297	101.8%

2 収益性の状況

(1) 経営動向と利益状況

平成 27 年診療所全体の経営実績は増収増益でした。収入上位診療所も同様に、増収増益となりました。

医業収入は 1.0%の増加となり、全ての収入科目が増加しています。

変動費は前年比 1.3%減、また限界利益は同 1.6%の増加となりました。

医業費用は、人件費が 2.5%の増加、その他医業費用は 0.1%の増加とほぼ横ばいでした。

■限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
限界利益	166,313	168,901	101.6%
医業利益	76,897	78,297	101.8%
経常利益	79,301	79,810	100.6%

結果として、医業利益は 1.8%の増加、経常利益も同様に 0.6%の増加となりました。

医業収入は対前年比 1.0%増加し、金額にして 2,018 千円の増収となりました。

内訳をみると、保険診療収入が前年比 0.9%の増加となり、保険外診療収入は 0.3%の増加、その他の医業収入は 16.6%の増加となっています。

医業収入に関しては、全ての収入科目で増加しました。

変動費は、対前年比 1.3%減となっています。材料費が 2.2%減少、一方で検査委託費は 4.5%増加しています。

変動費外医業費用は、対前年比 1.3%、金額では 1,188 千円の増加となりました。

内訳をみると、人件費が 2.5%の増加、その他医業費用は 0.1%、金額にして 48 千円の微増でした。

医業利益は、対前年比 1.8%の増加、金額にして 1,400 千円の増益となりました。

経常利益は 0.6%、金額にして 509 千円の増加となっています。

3 医業収入の状況

(1) 医業収入対前年比較

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
医業収入合計	209,562	211,580	101.0%
保険診療収入	185,168	186,756	100.9%
保険外診療収入	22,216	22,284	100.3%
その他医業収入	2,178	2,540	116.6%

(2) 医業収入分析 (医業収入上位 20%)

医業収入は 211,580 千円であり、金額にして 2,018 千円、前年に比べ 1.0%の増収となりました。

医業収入の内訳は、保険診療収入が 186,756 千円(対前年比 100.9%)となり、保険外診療収入は 22,284 千円(同 100.3%)と増加、その他医業収入も 2,540 千円(同 116.6%)と増加しています。

4 医業費用の実態

(1) 医業費用対前年比較

医業費用の実績は、下記のとおりです。変動費は 1.3%の減少となりましたが、人件費は 2.5%の増加、その他医業費用は 0.1%の増加と前年並みとなっています。

① 変動費 (材料費・検査委託費)

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
変動費合計	43,249	42,679	98.7%
変動费率	20.6%	20.2%	0.4%
材料費	37,314	36,478	97.8%
検査委託費	5,935	6,201	104.5%

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
人件費合計	46,362	47,502	102.5%
参考 役員報酬	60,536	59,729	98.7%
参考 専従者給与	5,474	5,561	101.6%

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
その他 医業費用合計	43,054	43,102	100.1%

(2) 医業費用分析

変動費

平成 27 年収入上位平均で、42,679 千円（対前年比 1.3%減）となりました。

材料費は減少（836 千円、対前年比 2.2%減）となり、検査委託費は 266 千円、対前年比 104.5%と、増加しました。

人件費

平成 27 年収入上位平均で、47,502 千円（役員報酬を除く、対前年比 2.5%増加）となりました。

労働分配率は、28.1%で、前年と比較しますと 0.2%増加しました。

役員報酬の平均は、平成 27 年 59,729 円（前年から 1.3%減）となっています。

また、専従者給与の平均額は 5,561 千円、こちらは、1.6%の増加となっています。

その他医業費用

その他医業費用の合計は、平均で 48 千円の増加（対前年比 0.1%増）とほぼ前年並みの実績となりました。

3 | 平成 27 年 診療科目別経営実績分析

1 診療科目別経営実績分析の概要

本分析で抽出したデータは、平成 27 年に決算を終えた無床診療所 253 件（医療法人 158 件、個人開業 95 件）から診療科目別に抽出し、各診療科目別の平均値を算出しています。

なお、抽出した診療科目は、内科、小児科、心療内科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科となっております。第 1 章のデータ同様、個人開業に統合したため、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■各データのサンプル数

内科	1 1 9 件（医療法人	7 5 件、個人開業	4 4 件）
小児科	2 1 件（医療法人	8 件、個人開業	1 3 件）
心療内科	1 3 件（医療法人	6 件、個人開業	7 件）
整形外科	2 1 件（医療法人	1 2 件、個人開業	9 件）
皮膚科	1 8 件（医療法人	9 件、個人開業	9 件）
耳鼻咽喉科	2 0 件（医療法人	1 0 件、個人開業	1 0 件）
眼科	1 3 件（医療法人	7 件、個人開業	6 件）

診療科目別の個別データは、次ページ以降に掲載しました。診療科目別に集計した主要科目別数値は、下記のとおりです。

■平成 27 年 診療科目別主要データ

（単位：千円）

	内科	小児科	心療内科	整形外科	皮膚科	耳鼻咽喉科	眼科
医業収入	109,688	111,397	102,468	135,196	101,405	94,898	111,723
変動費	19,114	29,396	10,773	16,368	7,633	7,272	14,202
限界利益	90,574	82,001	91,695	118,828	93,772	87,626	97,521
医業費用	46,759	40,102	42,286	74,394	48,135	41,157	55,849
人件費	22,405	18,787	17,287	39,675	21,615	19,182	28,833
医業利益	43,815	41,899	49,409	44,434	45,637	46,469	41,672
参考：役員報酬	43,157	31,415	55,685	39,441	49,071	32,226	31,923

2 診療科目別経営実績分析結果

(1) 内科診療所

内科を標榜している診療所の集計データです。内科診療所は、増収増益となりました。

医業収入は、0.7%の増加となりました。

医業利益は、43,815 千円（対前年比 2.9%増加）となりました。

参考として役員報酬は、27 年平均で 43,157 千円となっています。

■平成 27 年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	108,957	109,688	100.7%
1. 保険診療収入	100,035	99,969	99.9%
2. 保険外診療収入	7,555	7,973	105.5%
3. その他の医業収入	1,367	1,746	127.7%
II 変動費	19,913	19,114	96.0%
材料費	15,774	14,817	93.9%
検査委託費	4,139	4,297	103.8%
III 限界利益	89,044	90,574	101.7%
IV 変動費外医業費用	46,473	46,759	100.6%
1. 人件費	22,431	22,405	99.9%
2. その他医業費用	24,042	24,354	101.3%
減価償却費	4,006	3,851	96.1%
地代家賃	6,197	6,057	97.7%
研究研修費	223	223	100.0%
保険料	2,258	2,264	100.3%
接待交際費	994	1,024	103.0%
その他経費	10,364	10,935	105.5%
V 医業利益	42,571	43,815	102.9%

(2)小児科診療所

小児科を標榜している診療所の集計データです。小児科診療所は、増収増益となりました。

保険診療収入は 1.8%と増加しましたが、保険外診療収入は減少しました。

医業利益は、41,899 千円（対前年比 2.0%増加）となっています。

役員報酬は、27 年平均で、31,415 千円となっています。

■平成 27 年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	109,481	111,397	101.8%
1. 保険診療収入	70,166	71,862	102.4%
2. 保険外診療収入	35,446	35,217	99.4%
3. その他の医業収入	3,869	4,318	111.6%
II 変動費	27,837	29,396	105.6%
材料費	26,013	27,169	104.4%
検査委託費	1,824	2,227	122.1%
III 限界利益	81,644	82,001	100.4%
IV 変動費外医業費用	40,559	40,102	98.9%
1. 人件費	18,799	18,787	99.9%
2. その他医業費用	21,760	21,315	98.0%
減価償却費	3,104	2,702	87.0%
地代家賃	5,757	5,816	101.0%
研究研修費	156	178	114.1%
保険料	811	725	89.4%
接待交際費	880	839	95.3%
その他経費	11,052	11,055	100.0%
V 医業利益	41,085	41,899	102.0%

(3)心療内科

心療内科を標榜している診療所の集計データです。心療内科診療所は、増収増益となりました。

1%を切る微増ですが、医業収入（対前年比 0.6%増加）、医業利益（対前年比 0.8%）ともに増加しています。

保険診療収入は、前年並みでしたが、保険外診療収入等は増加しています。

役員報酬は、27年平均で、55,685千円となっています。

■平成 27 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	101,876	102,468	100.6%
1. 保険診療収入	94,290	94,190	99.9%
2. 保険外診療収入	7,272	7,956	109.4%
3. その他の医業収入	314	322	102.5%
II 変動費	11,745	10,773	91.7%
材料費	10,241	9,154	89.4%
検査委託費	1,504	1,619	107.6%
III 限界利益	90,131	91,695	101.7%
IV 変動費外医業費用	41,091	42,286	102.9%
1. 人件費	17,185	17,287	100.6%
2. その他医業費用	23,906	24,999	104.6%
減価償却費	3,960	3,867	97.7%
地代家賃	4,321	4,433	102.6%
研究研修費	333	364	109.3%
保険料	3,603	4,045	112.3%
接待交際費	890	815	91.6%
その他経費	10,799	11,475	106.3%
V 医業利益	49,040	49,409	100.8%

(4) 整形外科診療所

整形外科診療所の集計データです。整形外科診療所は、増収増益となりました。

医業収入は、1.4%の増加となり、変動費は 5.4%の減少、変動費外医業費用は 0.5%増加し、結果として、医業利益は 5.7%、金額にして 2,388 千円の増加となりました。

役員報酬は、27 年平均で 39,441 千円となっています。

■平成 27 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	133,356	135,196	101.4%
1. 保険診療収入	117,075	119,135	101.8%
2. 保険外診療収入	15,217	15,017	98.7%
3. その他の医業収入	1,064	1,044	98.1%
II 変動費	17,306	16,368	94.6%
材料費	16,336	15,387	94.2%
検査委託費	970	981	101.1%
III 限界利益	116,050	118,828	102.4%
IV 変動費外医業費用	74,004	74,394	100.5%
1. 人件費	38,134	39,675	104.0%
2. その他医業費用	35,870	34,719	96.8%
減価償却費	6,233	5,498	88.2%
地代家賃	8,658	8,831	102.0%
研究研修費	417	324	77.7%
保険料	3,327	3,413	102.6%
接待交際費	2,179	2,039	93.6%
その他経費	15,056	14,614	97.1%
V 医業利益	42,046	44,434	105.7%

(5)皮膚科診療所

皮膚科を標榜している診療所の集計データです。皮膚科診療所は、増収増益となりました。

医業収入（対前年比 3.8%増加）、医業利益（対前年比 4.3%）ともに増加しています。役員報酬は、27 年平均で、49,071 千円となっています。

■平成 27 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	97,681	101,405	103.8%
1. 保険診療収入	84,547	87,638	103.7%
2. 保険外診療収入	11,773	12,154	103.2%
3. その他の医業収入	1,361	1,613	118.5%
II 変動費	7,226	7,633	105.6%
材料費	6,125	6,515	106.4%
検査委託費	1,101	1,118	101.5%
III 限界利益	90,455	93,772	103.7%
IV 変動費外医業費用	46,680	48,135	103.1%
1. 人件費	20,833	21,615	103.8%
2. その他医業費用	25,847	26,520	102.6%
減価償却費	4,343	3,337	76.8%
地代家賃	5,247	5,351	102.0%
研究研修費	390	407	104.4%
保険料	1,743	1,841	105.6%
接待交際費	1,384	1,675	121.0%
その他経費	12,740	13,909	109.2%
V 医業利益	43,775	45,637	104.3%

(6)耳鼻咽喉科診療所

耳鼻咽喉科を標榜している診療所の集計データです。耳鼻咽喉科診療所は、増収増益となりました。

医業収入は、保険診療収入が 3.1%、保険外診療収入が 6.0%増加しましたが、その他の医業収入は 4.5%減少しました。

医業利益は 46,469 千円（対前年比 3.3%増加）、金額にして 1,482 千円の増加となりました。

役員報酬は、27 年平均で 32,226 千円となっています。

■平成 27 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	92,029	94,898	103.1%
1. 保険診療収入	90,309	93,128	103.1%
2. 保険外診療収入	1,209	1,282	106.0%
3. その他の医業収入	511	488	95.5%
II 変動費	6,786	7,272	107.2%
材料費	4,862	5,205	107.1%
検査委託費	1,924	2,067	107.4%
III 限界利益	85,243	87,626	102.8%
IV 変動費外医業費用	40,256	41,157	102.2%
1. 人件費	18,894	19,182	101.5%
2. その他医業費用	21,362	21,975	102.9%
減価償却費	4,831	4,497	93.1%
地代家賃	5,590	5,644	101.0%
研究研修費	174	157	90.2%
保険料	1,214	1,411	116.2%
接待交際費	821	801	97.6%
その他経費	8,732	9,465	108.4%
V 医業利益	44,987	46,469	103.3%

(7)眼科診療所

眼科を標榜している診療所の集計データです。眼科診療所は、増収増益となりました。

医業収入は対前年比 3.5%増、保険診療収入とその他の医業収入は増加しましたが、保険外診療収入は減少しました。

医業利益は、41,672 千円(対前年比 7.3%増加)、金額にして 2,817 千円の増加となりました。

役員報酬は、27 年平均で 31,923 千円となっています。

■平成 27 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	107,993	111,723	103.5%
1. 保険診療収入	106,785	110,590	103.6%
2. 保険外診療収入	765	548	71.6%
3. その他の医業収入	443	585	132.1%
II 変動費	13,023	14,202	109.1%
材料費	12,504	13,650	109.2%
検査委託費	519	552	106.4%
III 限界利益	94,970	97,521	102.7%
IV 変動費外医業費用	56,115	55,849	99.5%
1. 人件費	27,428	28,833	105.1%
2. その他医業費用	28,687	27,016	94.2%
減価償却費	7,312	7,215	98.7%
地代家賃	5,210	5,288	101.5%
研究研修費	278	330	118.7%
保険料	920	1,007	109.5%
接待交際費	1,032	1,145	110.9%
その他経費	13,935	12,031	86.3%
V 医業利益	38,855	41,672	107.3%

4 | 平成 27 年 医療法人立診療所経営指標分析

1 医療法人経営指標分析の概要

本章では、医療法人立無床診療所の 158 件をベースに、貸借対照表の数値を抽出し、経営指標を算出しました。分析は、収益性、生産性、安全性、成長性の 4 つの視点で行っています。第 1 章では、医療法人・個人開業のデータを合算していますが、法人・個人合算データで経営指標を分析すると、役員報酬を除いていることから異常値が発生するため、医療法人 158 件をベースに分析を行いました。

■平成 27 年比較貸借対照表 医療法人立無床診療所平均

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
	平成 26 年	平成 27 年		平成 26 年	平成 27 年
【流動資産】	60,605	55,232	【流動負債】	15,130	14,425
現金・預金	39,038	34,225	買掛金	2,500	2,554
医業未収金	19,771	19,602	その他	12,630	11,871
その他	1,796	1,405	【固定負債】	19,941	17,698
【有形固定資産】	20,271	20,101	長期借入金	19,551	16,353
医療用機器備品	2,554	2,871	その他	390	1,345
工具器具備品	2,953	3,372	負債合計	35,071	32,123
その他	14,764	13,858	資本の部		
【無形固定資産】	5,169	5,952		平成 26 年	平成 27 年
ソフトウェア	316	344	【出資金】	9,080	9,080
その他	4,853	5,608	【資本剰余金等】	60,958	61,844
【その他の資産】	19,064	21,762			
保険積立金	18,879	20,679	資本合計	70,038	70,924
その他	185	1,083	負債・資本合計	105,109	103,047
固定資産計	44,504	47,815			
資産合計	105,109	103,047			

■平成 27 年比較損益計算書 医療法人立無床診療所平均

経営分析に必要となる主要損益数値は下記のとおりです。なお、役員及び職員数については平均値を算出し、役員 3 名、職員数 8 名、計 11 名で計算しています。

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
医業収入計	131,053	131,633	100.4%
限界利益	110,257	111,504	101.1%
給与費計	72,251	72,221	99.9%
医業利益	7,078	7,528	106.4%
経常利益	9,013	9,476	105.1%

2 収益性分析 前年対比

		平成 26 年度	平成 27 年度	増 減
収益性	総資本経常利益率	8.6%	9.2%	0.6%
	医業収入医業利益率	5.4%	5.7%	0.3%
	医業収入経常利益率	6.9%	7.2%	0.3%
	総資本回転率	1.2 回	1.3 回	0.1 回

■指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る	経常利益 ÷ 総資本 × 100 (%)
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除したもの	医業利益 ÷ 売上高 × 100 (%)
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したもの	経常利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る	医業収入 ÷ 総資本

■収益性分析コメント

●総資本経常利益率

平成 27 年度の実績は、経常利益がプラスとなっているため、医療法人立診療所の経営効率は安定しています。

●医業収入医業利益率・医業収入経常利益率

総資本経常利益率と同様に、医業利益・経常利益の増加によって、上昇しています。

●総資本回転率

総資本回転率は 0.1 回の増加であり、回転率に大きな変化はありませんでした。

3 生産性分析 前年対比

		平成 26 年度	平成 27 年度	増 減
生産性	限界利益率	84.1%	84.7%	0.6%
	1 人当たり医業収入/月	993 千円	997 千円	4 千円
	1 人当たり限界利益/月	835 千円	845 千円	10 千円
	1 人当たり人件費/月	547 千円	547 千円	0 千円
	労働分配率	65.5%	64.8%	0.7%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費を控除した限界利益の医業収入に対する比率	限界利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る	(医業収入 ÷ 職員数) ÷ 12 ヶ月
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標、労働生産性ともいう	(限界利益 ÷ 職員数) ÷ 12 ヶ月
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料等の事業所負担も含めたもの）を見る	(総額人件費 ÷ 職員数) ÷ 12 ヶ月
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100 (%)

■生産性分析コメント

●限界利益率

変動費の減少により、前年よりも数値が 0.6% のプラスとなっています。

●一人当たり医業収入・一人当たり限界利益・一人当たり人件費

いずれも前年度とほぼ同額でした。収入、限界利益ともに微増であったのに対して、人件費はほぼ同額であったことが要因です。

●労働分配率

労働分配率は、前年 65.5% に対し、27 年は 64.8% となり、0.7% 減少しています。限界利益が微増となったことが要因と思われます。

4 安全性分析 前年対比

		平成 26 年度	平成 27 年度	増減
安全性	流動比率	400.6%	382.9%	17.7%
	当座比率	388.7%	373.2%	15.5%
	固定比率	63.5%	67.4%	3.9%
	固定長期適合率	49.5%	54.0%	4.5%
	自己資本比率	66.6%	68.8%	2.2%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る	流動資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る	当座資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る	固定資産 ÷ 自己資本 × 100 (%)
固定長期適合率	固定資産が自己資本と長期負債でどれだけ調達できているかを見る	固定資産 ÷ (自己資本 + 長期負債) × 100 (%)
自己資本比率	総資産に占める自己資本（純資産）の割合を見る	自己資本 ÷ 総資産 × 100 (%)

■安全性分析コメント

●流動比率・当座比率

流動比率は、前年から 17.7%の減少となりました。しかし、引き続き高い短期的な債務返済能力を有していると評価できます。当座比率も、15.5%減少しましたが、換金可能な資産による債務返済能力も高い水準となっています。

●固定長期適合率

前年より 4.5%の増加となり、54.0%と望ましい水準を維持しています。

●自己資本比率

他業種と比較して高い水準を維持しており、財務体質は健全な状況であるといえます。

5 成長性分析 前年対比

		平成 26 年度	平成 27 年度
成長性	医業収入増加率	0.4%	0.4%
	限界利益増加率	1.5%	1.1%
	医業利益増加率	19.1%	6.4%
	経常利益増加率	21.9%	5.1%
	自己資本増加率	9.3%	1.3%

■成長性分析コメント

成長性はすべて増加となりました。前回調査は、医業収入は増加しましたが、消費税 8%の影響により、コストが大幅に増加しました。27年度は、コスト管理が定着し増収増益となったため、各数値がプラスになったと推測できます。